

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 50 号

2020年10月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館
浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



10代のおくる

はぴ



『カレーライスを一から作る—関野良晴ゼミ』

前田 亜紀 / 作 ポプラ社 2017年



「9か月かけてカレーライスを作ろう」と誘われたら、あなたならどうしますか？ スーパーに行けばカレーの材料と食器はすべて揃います。しかし、それらを「一」から作ることに挑戦した学生たちがいます。この本はそんな計画を追ったドキュメンタリーです。

種をまいて、苗を植え、土器を焼き、海水を塩にする。大変でも楽しい作業をする中で、しだいに自分たちがヒナから育てている鳥を肉にして食べてしまうことに、葛藤が芽生えます。果たして彼らの下した決断とは！？

『グリーン・グリーン』

あさの あつこ / 作 徳間書店 2014年



真緑は、失恋した直後に食べた兎鍋米のお握りのおいしさに慰められ、兎鍋村近くの農林高校へ就職した。東京の名門校を出た真緑は、過疎地の農林高校では戸惑うことばかり。生徒を惹きつける授業ができなかったり、先輩教師から叱られてしまったりと、なかなかうまくいかないが、生徒から信頼を得て、失恋も乗り越えることができるのだろうか。問題を抱える生徒たちの手助けをしようとする真緑を応援したくなるストーリー。続編もあります。

『イネという不思議な植物』

稲垣 栄洋 / 作 ちくまプリマー新書 2019年



日本人の最も身近にある植物、イネ。あまりにも身近過ぎて知られていないけれど、実はイネには不思議がいっぱい。例えば米粒はイネの種子であることや、白米は赤や黒などの米が突然変異で白くなったこと、などなど。そんな特徴を説明しながら、なぜイネの生産が広まり、お米が日本人にとって重要な食べ物になったのかを明らかにしています。

表紙からは想像できないゆるいイラストで、植物のことも分かり、日本の歴史のことも分かっちゃう2度おいしい本。イネの秘密を探ってみてください。



『フルーツひとつばなし おいしい果実たちの「秘密」』

田中 修 / 作 講談社現代新書 2013年



あなたは果物が好きですか？ おやつでよく食べますか？

この本では、ごみ捨て場で発見された苗木から作られたおいしい果物や、戦後シベリアに抑留されていた日本人兵士を病気から回復させるきっかけとなった果物などを知ることができます。冷やした時の食感から「森のアイスクリーム」と呼ばれるものも。

50種類の果物にまつわる様々な秘密を、カラフルでおいしそうなお写真とともに味わってみてはいかがでしょうか。

『いつかすべてが君の力になる』

梶 裕貴 / 作 河出書房新社 2018年



あなたの将来の夢は？ と聞かれてすぐに答えられますか。すでに決まっている人もいれば、なかなか見つからず悩んでいる人もいるかもしれません。子どものころの著者も、将来について色々と思いつつ日々を過ごしました。そんな著者が人気声優となった今、夢を叶えるための方法だけでなくプロとしての心構えや声優の仕事の裏側まで教えてくれます。

すべての経験が未来への力になる。夢を見つけない人、自分に自信がない人を応援してくれる一冊です。

『挫折と挑戦 壁をこえて行こう』

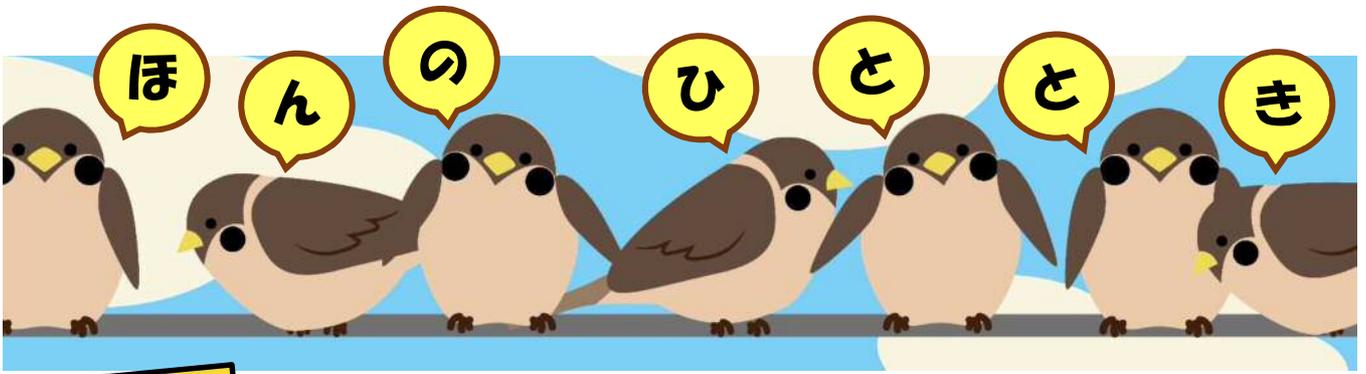
中竹 竜二 / 作 PHP 研究所 2008年



練習試合に出れば、すぐにけがをして退場になってしまう。公式戦への出場経験はゼロ。にも関わらず、名門・早稲田大学ラグビー部の主将に選ばれ、その後は監督として母校のチームを大学日本一に導いた。

ラグビー以外にも、受験に失敗する、留学先の海外で人種差別に遭うなど、誰よりもたくさん挫折をしてきたと自負する作者。それでも自分の弱さを認めることで、ポジティブに生きてきた。挫折を受け入れ挑戦し続ける様子や困難を乗り越えるための信条を紹介する。





『お米ができるまで』

いわさだ るみこ / 作 たけだ みほ / 絵 講談社 2015年

本で
米作り体験
してみよう

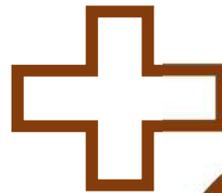
新潟県の山の上。雪解けの季節、代々続く田んぼ農家七代目の「ダイヒョー」は途方に暮れていた。なぜなら近所の田んぼの管理も引き受けてしまったから。一人ではとうてい手に負えない。さあ困った、どうしよう。

そこへ手伝いに雇われたのは米作り未経験のダンサー「シンイリ」。一生懸命やるものの、肥料が足りなかったり、トラクターの窓を割ってしまったり……。二人を次々おそうパニング。収穫目指して奮闘中！



春にイネを植えて、水をあげれば、秋には美味しいお米の出来上がり……なんて、米作りは簡単じゃない。冬の寒い時期には「荒起こし」を、田植えの直前には「代かき」を、と準備から収穫までたくさんの作業があるのです。

そんな作業風景や田んぼに住む生き物を、写真を通して紹介してくれるのがこの本。『お米ができるまで』と一緒に読むと2倍楽しめます。



いっしょに読みたい！

『田んぼのコレクション』

うちやま りゅう / 作 フレーベル館 2016年



次回予告

(1月発行)

はぴ51号のテーマは



夢

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。